

アリアケギバチ

Pseudobagrus aurantiacus

ナマズ目 ギギ科

カテゴリー

大分県 Ⅱ
環境庁 準



九州に生息する日本固有種で、全長約25cm。河川の中流域に生息し、日中は川岸の植物の根の間などで休息し、夜間に水生昆虫や小魚を捕食する。背びれと胸びれに棘^{とげ}があり、刺されると痛い。胸びれの付け根の骨を擦り合わせて「ギュッ、ギュッ」と音を出すことから、ギュギュウという地方名もある。生息環境の変化に弱いため、河川改修などによる生息地の減少や消失が懸念される。

(写真・文：星野和夫)

県内分布 筑後川水系

分布域 九州西部，長崎県壱岐